



妻北っ子だより

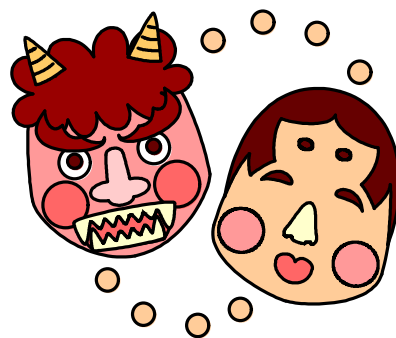
令和4年度 2月号 文責 校長

「三寒四温（もうすぐ春が・・・）」

2月6日（月）、体育館で全校朝会を行いました。コロナ以上に心配していたインフルエンザの感染もひと段落していると判断して、全児童を集めました。

12月当初に並び方等を学んだ子どもたちは、整然と集合し、話もきちんと聞くことができました。

もうすぐ春がやってきます。今の学年のまとめと次の学年への準備を進める年度末です。



「天国と地獄の長い箸」

<「ものの見方が変わる座右の寓話」戸田智弘著 ディスカヴァー携書から>

地獄の食堂も極楽の食堂も満員だった。向かい合って座っているテーブルの上には、おいしそうなお馳走がたくさん並んでいる。地獄の食堂も極楽の食堂も決まりがあった。それは、たいへん長い箸で食事をしなければならないということだった。

地獄の食堂では、みんなが一生懸命に食べようとするのだから、あまりに箸が長いのでどうしても自分の口の中に食べるものが入らない。食べたいのに食べられない。

おまけに、長い箸の先が隣の人をついてしまう。食堂のいたるところでケンカが起きていた。

極楽の食堂では、みんながおだやかな顔で食事を楽しんでいた。よく見ると、みんなが向かいの人の口へと食べるものを運んでいた。こっち側に座っている人が向こう側に座っている人に食べさせてあげ、こっち側に座っている人は向かい側の人から食べさせてもらっていた。

◎「奪い合うから足りなくなる」

地獄の食堂には「自分のことしか考えていない」人間が集まっている。ご馳走をめぐる争い事や奪い合いが絶えず、暴力がはびこっている。極論すれば、地獄の食堂の人間にとって他人は邪魔者であり、居なくなればよいとさえ思っている。

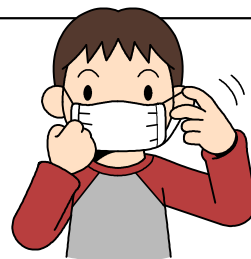
極楽の食堂には、「自分のことだけでなく他人のことも考える」人間が集まっている。奪い合う関係ではなく与え合う関係が確立しているので、秩序と平和が保たれている。彼らは、他人が「そこに居る」ということを心より尊重し、自分一人の力では生きていけないし、生きていくためには自分以外の他者の力を借りなければいけないことを知っている。



* 話すネタが少なくなり、最近読んでいる著書から全校朝会で紹介したものです。
「そりゃあ、極楽の食堂の方がいいよね」と思ったのは、私だけでしょうか？

「2類から5類へ」

政府は新型コロナの感染症法上の位置付けについて、5月8日から季節性インフルエンザと同じ「5類」へ引き下げる方針を決定しました。



卒業式については、5年生が在校生代表として参加して実施する方向で運営や練習計画を組んでいます。

およそ3年間、「マスクの着用、3密を避ける、換気・手洗い・うがいの励行」等の対策を講じてきた中で、私も含め職員も入れ替わり「3年前はどうだったか」を想起するのに苦勞しているのが実情です。

「5類」になるとはいえ、感染症は感染症です。国や県の動向を把握し、市教育委員会の指導を仰ぎながら、適切な対応ができるようにしたいと考えおりますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

3月行事

1日(火) 読書の日、
学びの確認週間開始
卒業式練習(6年)
3日(金) 卒業式練習(5・6年生)
委員会活動(評価)
6日(月) 特別校時(~10日)
図書返却(~10日)
心のアンケート(~10日)
8日(水) 卒業式練習(6年)

10日(金) 卒業式練習(5・6年)
13日(月) 校内古本市(6年)
14日(火) 卒業式予行
21日(火) 春分の日
22日(水) 卒業式準備(4・5年生)
23日(木) 卒業式
24日(金) 修了式・大掃除
* 離任式については期日調整中

「学校保健委員会」「参観日」への参加 ありがとうございました。



1月31日(火)に学校保健委員会を実施しました。
すこやか調べて判明した本校での課題は、「きまった時間に寝ること」でした。
各ご家庭それぞれの生活リズムがある中で、子どもさんの睡眠時間を一律に
「〇時間確保しましょう」と提案するのは、現実的ではないかもしれません。

ただ、睡眠不足が与える心や体の不調は、起床してからの朝食、学校への登校意欲や学習意欲にも影響を及ぼしているのは事実です。

このことは、2月18日(土)参観日の学級懇談の際にも話題になったことと
思っています。

5年後、10年後、子どもたちの健やかな成長のために何ができるか？
健康を維持するための習慣付けは、一朝一夕ではできません。
子どもたちが自主的にできるようになるまで、私たち大人が手本を示したり、
「やさしく、しつこく、こつこつ」と言葉かけしたりしていきましょう。